

平成30年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

# 適性検査Ⅰ（45分）

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全4ページ）になります。**問題2**（全4ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくていねいな文字で書きましょう。解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で**3枚**あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、文の終わりには句点「。」を書きます。句読点「、」やかつこなども一字に教え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(7)は、その問題の「注意事項」の指示にしたいがいきましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、と中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題 1

次の文章を読んで、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

なお、**A**から**H**は段落の記号を表しています。また、問題作成のため、一部文章をへんこう変更しています。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

【齋藤慶典『中学生の君におくる哲学』(講談社)】

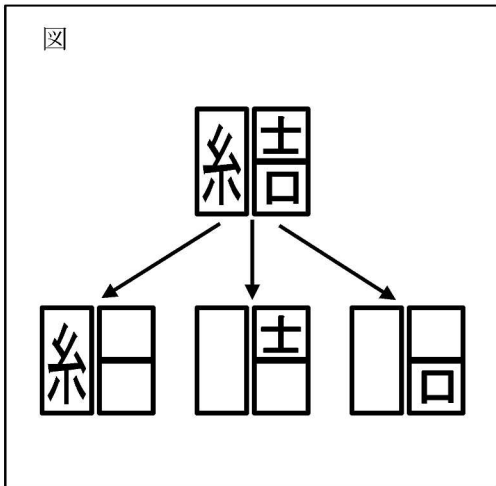
【注】

\*1 途方にくれる……どうしてよいかわからないで、困りきる。

\*2 かたわら……物や人のわきのほう。そば。

(1) —— 線①「結」という漢字は、左の図のように分けることができ

ます。それぞれの空らんをうめて別の漢字を三つ完成させましょう。ただし、「糸」、「土」、「口」はこれ以上使うことができません。



(2) (あ)に、ある言葉を入れると慣用句になります。(あ)に入る言葉を書きましょう。また、左の(1)から(4)にも、(あ)と同じ言葉が入りますが、この言葉を(あ)と同じ意味で使っているものはどれですか。一つ選び、数字で答えましょう。

- |          |          |
|----------|----------|
| (1) にあまる | (2) を組む  |
| (3) をあげる | (4) が焼ける |

(3) はなこさんは、で囲まれた文章の特徴について考えてみました。(い)にあてはまる言葉をで囲まれた文章の中からそれぞれ抜き出して書きましょう。

はなこさんの考え

で囲まれた各段落では、呼びかける相手を意識して、必ず(い)という言葉が使われていますが、で囲まれた文章では(い)という言葉が使われていません。このことから、で囲まれた文章は、筆者が(う)に問いかけて考えを整理しているのでは、と考えました。

(4) たろうさんは、で囲まれた文章の段落どうしのつながりについて考えてみました。(え)にあてはまる段落記号をA、Hから選び、(お)にあてはまる言葉をで囲まれた文章の中から抜き出して、それぞれ書きましょう。

たろうさんの考え

で囲まれた文章では、「学ぶこと」に関する二つの考え方が書かれています。私は(え)の段落から二つ目の考え方が書かれていると思いました。理由は、「つなぎ言葉」に注目したからです。(お)という「つなぎ言葉」が、前の段落とは反対のことがここから述べられることを示しているからです。

(5) 次のア～エの中から、本文の内容にあてはまるものを一つ選び、記号で答えましょう。

ア 結果が欲しくて学ぶのならば、テストなどでそれなりの点を取るよう工夫するよりも、技術や資格など何かを「身につける」という意味での覚えることに集中すべきだろう。

イ 知っていることや身についていることをもう一度改めて「学ぶこと」が本来は行われるべきで、そうしたことをどこで行うのか、あらかじめ見当をつける必要があるだろう。

ウ この世に生まれるということは「向こうのほうから」何かが降ってくることであり、何かまったく新しく、とてつもないことと出会うことではないのだと考えるべきだろう。

エ 学ぶことを「しなきゃいけない」と考えるよりも、まったく新しい、見たことも聞いたこともない一回かぎりのものに出会うことだと考えて日々の勉強を見直すべきだろう。

(6) 線②「こうしたこと」とは何か、Eの段落の中の言葉を使って二十字以上三十字以内で書きましょう。

(7) この文章は、筆者が「学ぶこと」について述べたものです。

で囲まれた文章の中の筆者の主張に対して、あなたの考えを述べましょう。また、その考えにもとづいて、あなたにとって「学ぶこと」とは何か、これまでの経験をふまえて、後ろの「注意事項」に合うように書きましょう。

「注意事項」

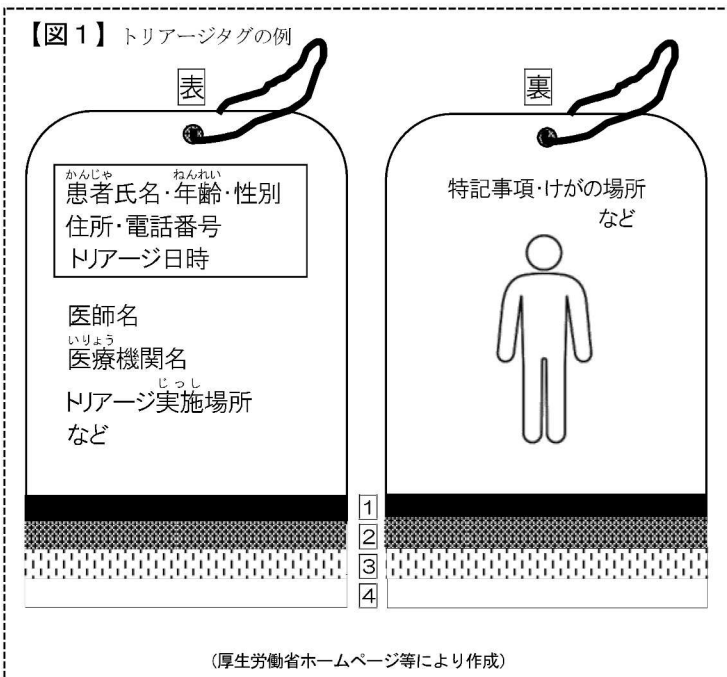
- **解答用紙2**に三百字以上四百字以内で書きましょう。
- 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましょう。
- 題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。
- 三段落以上の構成で書きましょう。
- 句読点「。、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましょう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

**問題2** 防災の日に、たろうさんとはなこさんがひろし先生と話をしていた時の様子です。下の会話文を読んで、あとの(1)～(4)の各問いに答えましょう。

ひろし先生：たろうさん、「トリアージ」って言葉を聞いたことがありますか。

たろうさん：トリアージ。なんですか、それは。

ひろし先生：トリアージとは、<sup>きんきゅう</sup>緊急災害でケガ人やたくさん<sup>の</sup>病人が出た時に、災害現場で傷の程度などを判定して、どの人から手当てをするのか優先順位を決めることです。このようなトリアージ用のタグ(【図1】)があるのです。災害時には一度に多くのケガ人や病人をみることはできませんから、はじめに優先順位を決めてから手当てをします。このタグをケガ人や病人につけて、ひと目でケガや病気の状態がわかるようにするのです(【図2】)。タグの下のほうに4つの色がついた部分がありますよね。



はなこさん：はい。上から順に、**1黒**、**2赤**、**3黄**、**4緑**の色がついています。

ひろし先生：この色のところは切りはなすことができるようになっていて(【図2】)、ケガ人や病人の状態を色で示します(【図3】)。

**【図3】**

色	1黒	2赤	3黄	4緑
状態	ただちに処置を行っても救命が明らかに不可能	ただちに処置が必要	多少処置が遅れても生命に影響なし	軽度の外傷通院が可能

(厚生労働省ホームページ等により作成)

はなこさん：もしケガ人が**2赤**の状態の人だとしたら、**3黄**、**4緑**を切りはなせばよいのね。

ひろし先生：その通りです。大勢の人たちの中から優先して手当ての必要がある方はどなたか、わかりやすくする工夫がされていますよね。

たろうさん：ところで、色の順番は上から①黒、②赤、③黄、④緑、の順番じゃないとダメですか。  
逆の順番、つまり、①が緑で、②が黄、③赤、④黒、であっても同じような気がしますけど。

はなこさん：え、①でもその順番だと困らないかしら。手当てが必要な人の状態に合わせて切りはなすことを考えると…。

たろうさん：そうか、なるほどね。トリアージタグって、よく考えられているんだね。

(1) 下線部①について、はなこさんは、たろうさんの言う色の順番だと、どのような困ることがあると考えたのでしょうか。解答らんに合うように書きましょう。

ひろし先生：では、災害時にどのような心がけが必要になるのか、もう少し考えてみましょう。例えば、災害の時には大勢の人がひなん所である学校や公民館に向かうでしょう。

はなこさん：一度に大勢の人がひなん所に集まると、混乱が生じるかもしれませんね。

たろうさん：さっき優先順位のことを話題にしたけれど、こうした混乱をさけるためには誰から受け入れたらいいか、順番を決める必要があるのかもしれないなあ。

はなこさん：自宅がこわれて住めなくなった人や、ケガや病気などが重い状態の人、障がいがある人も優先されるべきだと思うわ。

たろうさん：②ほかにも…。

(2) 下線部②について、たろうさんはほかにも、どのような人の受け入れがひなん所で優先されるべきだと考えたのでしょうか。2つ書きましょう。

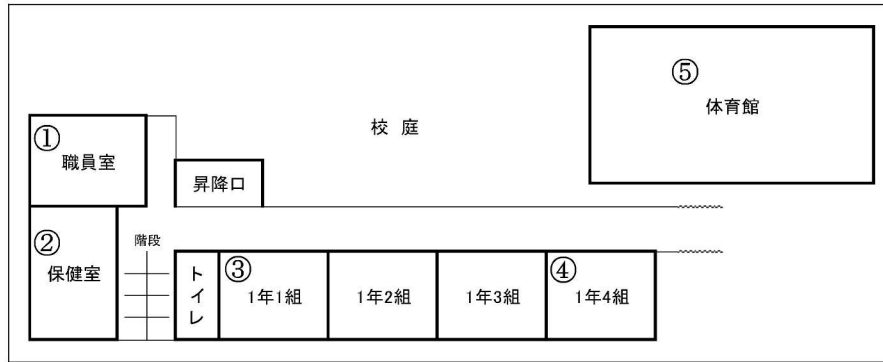
ひろし先生：最近では、ひなん所の運営について広く紹介されていることがあるんですよ。

たろうさん：たくさんの方がひなんして来るのだから、来た人がどのような状態か、様子などをよく見ることは必要だと思う。そのうえで、だれをどんな場所にひなんさせたらいいのか、そのことを考えることも大切だね。

はなこさん：大勢がひなんしてくるから混乱しないように気をつけるのですね。難しそう。

ひろし先生：災害時にどのような心がけが必要かを考えるには、ひなん所運営の大変さを知ることも大切です。ではここで、ちょっと練習問題を出してみましょうか。それでは、たろうさんはひなん所を運営する役割を担当してください。ある小学校の建物の一部（【図4】）をひなん場所に見立てて考えてみましょう。

【図4】



たろうさん：はい。お願いします。

ひろし先生：災害が起きてどんな人がひなんしてくるのか、これから電話で伝えられますから、よく聞いて、誰をどこにひなんさせるべきか考えてみましょう。では、始めますよ。

「もしもし、小学校ですか。そちらに向かう人たちの情報をお伝えします。はじめに、ひかるさんとかおるさんです。かおるさんの意識ははっきりしています。2人ともケガをしています。男性と女性、ひとりずつです。それから、ふた組の親子が向かいます。友子さん、まきさん、健太さん、陽子さん。そのうち健太さんだけが男性です。まきさんは、生後2か月です。小学5年生の友子さんと友子さんのお父さんは元気です。友子さんのお母さんは後からひなんしてくるそうです。まきさんのお母さんの話によると、まきさんの夜泣きがひどいそうなので、2人には他の人たちが夜泣きで困らないような部屋をあたえてください。そうだ、最初に意識がはっきりとしているとお伝えした男性ですが、ケガの応急処置は済んでいます、歩行が困難でトイレもままなりません。サポートの方を向かわせませす。いっしょの女性のケガは軽いようです。彼女はひなんしてきましたが、連絡員という役割をお願いしました。いつでも建物の外の人と電話ができる所に待機させてください。大ケガを負った方がいらっしゃいます。さとるさんです。この方は、ひなんした後、すぐに救急車で病院に運ぶ必要がありますので、応急処置ができて、清潔な場所をお願いします。それから、運ばれてきた食料などを仮に置く場所を1階に2教室分、空けておいてください。あと、ケガ人のサポートをするボランティアの方が決まりました。山田さんです。しばらく、つきっきりで同じ部屋にいてもらいましょう。あ、後から来ると伝えたお母さんのみち子さんは、ここにもうすぐ着くそうです。元気です。待っている先ほどの親子と同じ所にひなんさせてください。」

たろうさん：わあ、たくさん来ましたね…全部で9人か。しかも、ややこしい。

ひろし先生：今回はひなん場所に何人ひなんさせるかは、あらかじめ決めておきますね。

たろうさん：③それぞれの人の状態や必要なことを考えて、最適な場所にひなんさせないといけない。さて、どうしよう。







適性検査I 解答用紙 3

問題 2

(1)

この順番にしないと

--

から困る。

(2)

--	--

(3)

ア. ひかるさん	イ. かおるさん	ウ. 友子さん	エ. まきさん	オ. 健太さん
カ. 陽子さん	キ. さとるさん	ク. 山田さん	ケ. みち子さん	

(4)

--

(5)

--

下のらんには  
記入しない

(1)

--

(2)

--

(3)

--

(4)

--

(5)

--

受検番号

氏 名

--

--

合 計

--